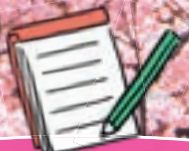




上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大生の
合格までの
道のり



受験体験記

Interview 在学学生インタビュー



経済学部・経済学科
一般選抜(TEAPスコア利用方式)で合格！

受験科目 英語(TEAP)、国語、数学



上智大学の名物行事
浴衣デーのときに、
ソフィアンくんと一緒に
撮った1枚です！

Q1. 上智大学を目指した理由は？

上智大学のオープンキャンパスを訪れた際に、大学が海外留学に力を入れていることや、在籍している学生も海外経験がある人が多いことを知り、入学したいと考えました。また、立地が良いことや、校舎がきれいなことも上智大学を志望した理由の一つです。

Q2. 上智大学に入学して良かったと思うことは？

学部問わず外国語を学べる環境が整っている点です。私が所属する経済学科でも、英語で開講されている授業が多数存在するため、経済学と英語の両方を同時に学ぶことができます。また、LLC※という施設では英語でのスピーキングセッションや、TOEFL・TOEICといった資格の対策講座が開講されています。また、海外経験を持つ学生の数も非常に多く、多様性に富んでいるため、様々な背景を持った学生と交流し、自分自身の視野を広げることができる点も上智大学の魅力だと思います。

※Language Learning Commonsの略称。四谷キャンパス6号館1階にある施設で、授業以外での語学学習の充実を図るためのさまざまなサービスを提供しています。

Q3. おすすめの勉強法は？

英語・古文・漢文に関しては音読することを強くおすすめします！短期間では効果が出ないので途中でやめてしまいがちですが、腐らずに続ければ効果は絶大なので、ぜひ取り組んでみてください。

受験生へメッセージ

受験勉強は楽しいことなんてほとんどなくて、苦しいことがほとんどだと思います。くじけそうになったら、自分自身の目標が何なのか、どうしてそういう目標を持っているのか考え直してみてください。目標が明確になれば、苦しい勉強も乗り越えていけると思います。皆様を上智大学でお待ちしております！

受験までのスケジュール

夏休み前

基礎固め、特に苦手だった英語や古典を重点的に勉強した



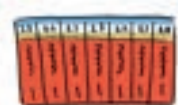
夏休み前半

苦手科目は引き続き基礎固め、得意科目は実践問題にも挑戦



夏休み後半

共通テストの過去問にも取りかかる



9月～11月

過去問演習



直前期

過去問演習→間違えた箇所を参考書で確認、の繰り返し



受験

Q1. 上智大学に入学して良かったと思うことは？

様々なバックグラウンドを持った学生が多く、講義中のディスカッションを通して様々な価値観や意見を吸収できずごく楽しいです。皆、個性が強く、面白い子ばかりです。

Q2. 勉強の息抜き・気分転換は？

甘いものが大好きなので、疲れた時はクッキーやチョコレート、フルーツなどを食べてエネルギーチャージしていました。また、好きな音楽を聴くのも気分転換になります。

Q3. おすすめの勉強法は？

学校の休み時間などの隙間時間も有効活用することです。日本史・世界史の一問一答、英語や古文漢文の単語帳、何でも構いません。ちょっとした隙間時間で短期集中することで必ず力がつきます。



体育会フェンシング部
夏合宿の様子です。
運動部未経験の私でしたが、
今ではすっかり
夢中になっています。

受験期の1年間は、授業開始1時間前に学校に行って自習室で勉強していました。

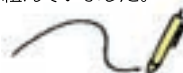
受験までのスケジュール

高校3年生
前期

当時は一般選抜での受験を考えていたので、苦手科目の国語に注力して勉強すると同時に、得意科目である英語力を落とさないために英語の単語や文法は欠かさずチェックしていました。ただ、公募推薦へのチャンスを残しておきたかったので、全教科の評定を維持するために頑張っていました。

夏
休
み

一般選抜と公募推薦の対策の両立が本格化しました。公募推薦対策に時間を取られたことで、模試の成績が落ちてしまい、心が折れかけたこともありましたが、今自分がやるべきことを一つ一つ丁寧に取り組んでいました。



直
前
期

公募推薦受験日の数週間前は、ひたすら英語筆記試験と面接の対策を行っていました。毎日英字新聞を読み記事を日本語で要約し、300字の英作文を書いて高校の英語の先生方に添削していただいていた。



受
験

受験生へメッセージ

努力していても成績が伸び悩む時期が出てくるとはありますが、自分を信じて最後まで後悔のないように頑張ってください。とにかく受験は体力勝負なので、毎日美味しいものをよく食べてエネルギーをつけ、規則正しい生活を送って体調を整えてください。皆さんと上智大学で会えることを楽しみにしています。



外国語学部・英語学科
推薦入学試験(公募制)で合格！

受験科目 学科試験、面接



TEAPスコア利用方式

事前に受験したTEAPまたはTEAP CBTのスコアと、
本学独自の教科・科目試験の結果で、総合的に合否判定を行う選抜方式

受験直前は勉強も大切ですが、
なにより体調管理が大切です。
後悔なく受験を終えるためにも、
万全の体調で試験に臨みましょう！



法学部・地球環境法学科

私のオススメ勉強法

とにかく楽しむことを意識していました。辛い、嫌だなと思うのではなく、プラスに考えて受験自体を楽しんでいました。

また、周りからの影響を受けすぎないように意識していました。模試の判定が悪かった、周りはもうこんなにやっている、あの人はこれくらいの点数だったなど、自分にとってマイナスな情報があるためです。しかし、良い影響もたくさんあります。友達と試験

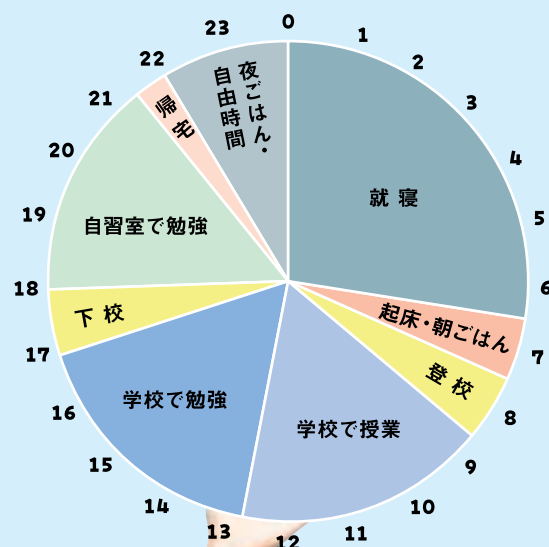
方式の内容や勉強法の共有、過去問を一緒に解くなどは、積極的に行っていました。



TEAP対策

TEAPの中でも好きだった、スピーキングやリスニング対策に重点を置きました。スピーキングの面接では自分の考えを求められる設問があるので、英語で物事を考える練習をしていました。英語での会話に慣れるため、高校の先生に面接の練習をしていただき、英語で自分の考えを伝える練習もしました。

また、家では問題集や授業で扱った長文の音読に力を入れていました。言語は慣れることが重要なので、音読によって感覚をつかむことができました。このことはTEAPの4技能だけでなく、英語の学習全般にとってプラスになりました。



塾には通っていなかったのですが、近所の自習室を借りて勉強していました。また、学校に行くと友達と教え合うのはリフレッシュの時間でした！

独自試験対策

国語の文章問題では、国語の知識だけでなく、より幅広い知識が必要になることがあります。そういった点も意識しながら勉強していました。

また、私のときは独自試験の日本史で記述の設問がありました。そのため、歴史上の出来事を個別に覚えるのではなく、流れを理解し文章で説明できるようになることを目標としました。プリントをもとに自分なりに考えをまとめ、何も見ずに内容を言えるくらいまで、自分で授業をしているように、声に出しながら勉強をしていました。

※独自試験の受験科目は国語、日本史の2科目。

一般選抜 私はこうして乗り越えました！

学部学科試験・共通テスト併用方式

大学入学共通テスト(任意提出した外国語外部検定試験結果を含む)と、
本学独自の学部学科試験の結果で、総合的に合否判定を行う選抜方式

共通テスト対策

毎月末に必ず本番と同じ時間割で予想問題や過去問題を解き、3科目平均得点率85%以上を安定してとることができるように努めました。

世界史は模試などで間違えた問題だけを集めた一問一答集を自作し、毎日意識的に朝の通学時間と寝る前に一周ずつ取り組んでいました。国語は類似する選択肢で迷うことがないように、夏休みまでは各問題100文字以内で記述解答を作成し、根拠をもって回答する訓練をしていました。

※大学出願時に使用したのは
英語、国語、世界史の3科目。



文学部・フランス文学科

学部学科試験対策

大学独自試験では学部学科の特色に応じた問題が出題され、フランス文学・文化・歴史に関するテキストの読解力や思考力、表現力が問われました。とにかくフランスの歴史や代表的な文学・美術(※)に触れることを意識しながら勉強していました。入学後を意識させる出題範囲で、興味のある分野ということもあり、勉強自体はそこまで辛くなかったです。

※具体的にはフランス出身の哲学者や、代表的な美術作品・文学作品などを全体的に把握しておけるような勉強をしていました。興味のあるような舞台芸術作品は息抜きに鑑賞も…!

高校生の自分へ

自分よりもずっと早く周りの進路が決まっていき、不安や焦り、プレッシャーで押しつぶされそうになっていたのをよく覚えています。ただ、あの時の経験やメンタルコントロールは今も活かされており、一般受験で上智大学に入学したことで、様々なことに日々挑戦させていただいている「今」があります。「人生を大きく変えるチャンス」に挑んでいることを誇りに思っています。



オープンキャンパス内の企画で参加者の皆さんとお話しているときの写真です。

自分一人で勉強するよりも、
周りが勉強している姿を見ながら
勉強したほうが刺激になると
思います！

Admission Column アドミッション・コラム

一般選抜編

一般選抜では、基礎的な学力が重視されます。基礎学力とは、ただ知識を覚えるだけでなく、自分の考えを持ち、それをしっかりとアウトプットする力も含まれます。

本学の一般選抜は全部で3方式ありますが、特に、学部学科試験・共通テスト併用方式は、全入試の中で募集人員がもっとも多く、上智大学の「メイン入試」と言えます。よって、まずは併用方式での受験を念頭に置き、あわせてTEAPスコア利用方式、共通テスト利用方式(3教科型・4教科型)での受験も検討していくのがオススメです。

入試制度の詳細につきましてはこちらをご覧ください。<https://adm.sophia.ac.jp/jpn/>(上智大学入学センター)



推薦入試 私はこうして乗り越えました！

推薦入学試験（公募制）

高校在学中の学習成績、課外活動など、1回限りの学力試験では評価しがたい資質・能力を、調査書や自己推薦書、レポート等特定課題などで判断するとともに、学科試験や面接によって、志望動機の強さ並びに学力や学科への適性を判定します。



総合人間科学部・教育学科

「なぜ自分は、その学びを深めたいのか」
「どういった経験からそう思うのか」
自分自身に何度も問いかけ、
それらに答える過程が重要です。

私のオススメ勉強法！

公募推薦の場合、当日の学科試験や面接対策のほか、出願時の自己推薦書、レポート等の作成なども受験勉強に含まれると思います。小論文や面接、自己推薦書やレポート課題の作成等では、先生方に練習や添削をお願いしていました。先生方との対話を重ねることが重要だと思います。特に自己推薦書を作成する際は、自分自身の分析と志望理由を深掘りすることが大切です。



学科試験対策

教育学科における学科試験は小論文試験でしたが、教育学に関わるテーマや課題に関して、教育そのものがどのような役割を担っていて、今後どのように為されていくと良いかという、教育に対する自分自身の考えや課題意識をもっておくことが大変重要です。

こうした、独自の考えや価値観を醸成するためには、自身が関心を寄せている研究を行っている教授のご著書を中心に読み、自分の興味関心のある分野への理解を深めていくことが有効だと思います。

面接対策

面接対策は、主に学校の先生にお願いをし、実際の面接の場を想定しながら行ってもらっていました。その中で、志望動機やその学部、学科、あるいは教授のもとで学びたいと思った理由、さらには「上智大学の」「その学科」でなければいけない理由をしっかりと述べられるようにしておくことが非常に大切です。

なるべく具体的にご自身の志望理由を明らかにし、述べられるようにしておくことに加え、自己推薦書作成時に自己分析を深め、自分自身をアピールすることも意識した面接対策を進めることをおすすめします。



高校3年生

夏休み前半

受験対策 本格始動! 自己分析を行うとともに具体的な志望理由を明らかにしながら、自己推薦書の作成に取り掛かりました。



指定図書

学科によって、図書の内容に基づくレポートが課されたり、学科試験や面接試験で出題されたりします。また、指定・課題図書自体がない学科もあります。



夏休み後半

レポート課題作成のため指定図書を読み始めました。自分自身が入学後、学びを深めたいと思った哲学者であり教育学者の本でした。

10月上旬頃

実際にレポートを自分で書いたうえで、先生に添削をお願いしていました。自分以外の人に必ず目を通してもらい、意見をいただくと良いと思います。



面接練習

小論文

11月の出願後～試験直前

試験科目である小論文対策と面接練習を中心に行っていました。

Admission Column アドミッション・コラム

推薦入学試験(公募制)編

一般選抜では基礎的な学力が重視されますが、推薦入試(公募制)などの特別な入試では、学力に加えて、あなたの個性やこれまでの経験、そして入学後の目標が重視されます。ただし、調査書やレポート等特定課題の内容によって、受験前に不合格にすることはありません。合否判定は書類審査、試験当日の学科試験、面接の総合判定によって行われますので、まんべんなく対策することが大切です。

入試制度の詳細につきましてはこちらをご覧ください。
<https://adm.sophia.ac.jp/jpn/>(上智大学入学センター)



上智大生



受験生



応援メッセージ！

S・Mさん

文学部・フランス文学科

人生で1番辛い時期ではありましたが、何か一つのことに向かって全力を尽くしたという経験は、今では大きな自信へと繋がっており、大学受験を乗り切ってよかったと感じています。周りに流されず、自分なりのペースを掴めさえすればあとは合格まで一直線です。素敵な人生を歩んでいくためにも、今できることに全力で取り組んでください。いつか上智大学でお会いできれば嬉しいです。応援しています。

K・Mさん

総合人間科学部・教育学科

受験に向けて、たくさんの不安があると思いますが、できることから一つひとつ取り組んでください。焦らずに、頑張ってください。また、入試要項やパンフレットには、入試に関する重要な内容や学部学科について詳しく知ることができる情報が載っているので、くまなく読み込んでおくことをおすすめします。皆さんの受験を応援しています！

Y・Yさん

文学部・新聞学科

受験期はストレスもかかり、大変だと思います。そんな時は、大学に入学した時のことを想像してください。高校の頃よりも圧倒的に自由な場で、興味のある学びを深めることは自分の視野を大きく広げてくれます。無理をしすぎず、合格に向けて努力してください。この経験はきっと将来役に立ちます。上智大生になったみなさんと四谷のキャンパスで会えることを楽しみにしています。受験頑張ってください！応援しています！

S・Yさん

総合グローバル学部・
総合グローバル学科

受験勉強、とても大変だと思いますが、大学生活はとても楽しいです。大学案内を見たり、オープンキャンパスに参加したりすることで、モチベーションアップにつながると思います。英単語などは、疲れていても毎日コツコツ取り組むことが、学力向上や、勉強の習慣化のためにも大切だと感じました。後悔しないよう、全力で頑張ってください!!!!

上智大生の
受験
体験記

くわしくはこちらから！



adm.sophia.ac.jp/jpn/jukentalkenki/

様々な入試制度で合格した先輩の
受験体験記を入試情報サイトに
掲載しています



自分の興味の幅を広げることが
できるのは、上智大学の大きな
魅力の一つです。

一般選抜(TEAPスコア利用方式)

経済学部・経済学科



大学に合格することは
ゴールではなく、
その先こそが大切です。

カトリック高等学校対象特別入学試験

法学部・法律学科



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

受験生用窓口
「アドミッションズオフィス」
TEL 03-3238-3167

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 四谷キャンパス12号館1階/北門横

開室時間 10:00~11:30/12:30~16:00(土・日・祝日は休業)

